

保育士キャリアラダー（横浜市モデル 2024）

名前【 】

保育士スペシャリスト

ステップ3	発信・育成	<ul style="list-style-type: none"> こどもの権利擁護の意味や取組、必要性を広く社会に発信することができる 地域の保育・教育施設に重要性を伝え、支援につなげることができる さらなる推進と継続のため、担い手を育成することができる 園や市の施策の方向性を理解し、幅広い視野をもって取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の取組や必要性を広く社会に発信することができる 地域の保育・教育施設に重要性を伝え、共に推進することができる さらなる発信と継続のため、担い手を育成することができる 園や市の施策の方向性を理解し、幅広い視野をもって取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 取組や必要性を広く社会に発信することができる これまで培ってきた知識・技術を保育・教育施設に伝えることができる さらなる推進と継続のため、担い手を育成することができる 園や市の施策の方向性を理解し、幅広い視野をもって仕事を進めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア・障害児保育の取組みや必要性を広く社会に発信することができる これまで培ってきた知識・技術などの経験を地域の保育・教育施設に伝えることができる 医療的ケア・障害児保育のさらなる推進と継続のため、担い手を育成することができる 園や市の施策の方向性を理解し、幅広い視野をもって仕事を進めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 公開保育・園内研修の取組みや必要性を広く社会に発信することができる 地域の保育・教育施設の公開保育・園内研修を支援することができる 	
ステップ2	実践	<ul style="list-style-type: none"> こどもの権利擁護の意味や重要性を後輩や同僚に伝え園全体の支援につなげることができる こどもの権利擁護の観点から由々しき事案がある時、関係機関への適切な対応、通告ができる こどもや家庭を抱える課題や特性を捉え、必要な保護者支援ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援の意義を後輩や同僚に伝え、園全体で支援することができる 地域の関連施設、子育て支援に関わる人材等を活用・連携しながら支援することができる 子育ての課題や多様なニーズを抱えた保護者へ適切な支援することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の保育・教育施設の「つなぎ役」となり、連携を推進することができる ネットワークの意義を後輩や同僚に伝え、共に園全体で支援することができる 保育・教育施設のそれぞれの課題や強みを理解した支援を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア・障害の特性に合わせた環境構成、保育活動を後輩や同僚に伝え園全体の支援につなげることができる 保護者への適切な支援を行うことができる 医療的ケア研修・発達障害児コーディネーター研修を受講する 医療的ケア・障害の特性に合わせた環境設定、保育活動を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 学識経験者に随行し2年間 Y サポとして実践を重ねることができる Y サポの認定を受け活動している 	<ul style="list-style-type: none"> 自組織を加え、区内市立保育所、課内を見渡しなが課長を補佐することができる
ステップ1	理解	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所一時保護所、児童養護施設、母子生活支援施設の機能や役割について理解できる 関係機関と、必要な場面で情報共有を図ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性や子育ての課題、多様なニーズについて把握することができる 地域の関連施設、子育て支援に関わる人材等について理解できている 地域子育て支援の役割を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性を理解し、ニーズを把握することができる 横浜市におけるネットワーク専任保育士の役割を理解することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアガイドラインを理解できる 医療的ケア・障害の特性について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 自園で他職員の園内研修や公開保育を支援することができる こども青少年局の往還型研修を受講し修了している 	<ul style="list-style-type: none"> 自組織をまとめ円滑に運営することができる 自組織の職員の人材育成ができる
		こどもの権利擁護	子育て支援	ネットワーク専任保育士	医療的ケア・障害児	横浜市保育・教育質向上サポーター（Y サポ）	

市立保育所責任職

課長	発信・次世代育成	<ul style="list-style-type: none"> エリア内、市立保育所の円滑な運営の支援と統括ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 市立保育所全体の保育の質の向上のため、市立保育所責任職、及び保育士の人材育成を統括することができる 	<ul style="list-style-type: none"> エリア内の保育・教育施設全体の保育力向上に向け、保育士責任職に助言を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 所管課局と共に保育施策に関する社会要請や新たな課題の検討が実施できる 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜の保育を広く社会に発信できる
課長補佐	区・局調整	<ul style="list-style-type: none"> 自組織に加え、区内市立保育所、課内を見渡しなが課長を補佐することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 区内市立保育所責任職への指導・助言ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の保育・教育施設へ協力、調整を行い保育力向上に寄与することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の動きや、国、市の施策・区局の運営方針を理解し、区事業に反映、推進することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 区内の取組みを市内に発信することができる
係長	園運営	<ul style="list-style-type: none"> 自組織をまとめ円滑に運営することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自組織の職員の人材育成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のニーズやセーフティネットの役割を意識し、関係機関との連携ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 市の施策・区局の運営方針を理解し、園運営に反映することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自組織の取組みを区内に発信することができる
		マネジメント	人材育成	地域支援	施策	発信

保育士ラダー

15 14 13 12 11	ステップ5	推進	<ul style="list-style-type: none"> こどもの人権や一人ひとりの人格を尊重した保育に園として取組み、推進することができる 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの将来を考え、切れ目のない支援及び育ちを繋げる視点を持ち、指導助言を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 「よこはま☆保育・教育宣言」を根拠とした保育を園全体で推進することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 職員を巻き込みながら「全体的な計画」の改訂や保育所の自己評価を適切に行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> こども自ら五感を使い、考え、創意工夫する姿をひきだす保育環境を構成し、豊かな保育実践ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 保育の専門性を活かしながら、組織的に、こどもの特性や取り巻く状況に配慮した保育を提案することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 責任職不在時に適切な判断、対応をすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 困難な保護者対応に責任職と一緒に対応することができる 適切な関係機関を示したり、根拠となる関係法令を説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉の関係法令を根拠に園の関係機関に説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠に裏付けられた判断や対応を行い、リーダーシップを発揮することができる 他職員の業務の進捗管理を行い、必要な手段を講じることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 職員により影響を与え、責任職と協力の上、目標達成に向けてチームをまとめていくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> スペシャリスト、責任職を視野に入れたキャリア形成を行うことができる 他職員のワークライフバランスにも配慮した働きやすい職場づくりを実践することができる 	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントや人材育成の担い手として必要な知識を高め次の担い手を育成できる
10 9 8 7	ステップ4	他者支援	<ul style="list-style-type: none"> こどもの人権や一人ひとりの人格を尊重した保育の大切さを他職員に伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスの保育を把握し、発達の連続性を踏まえた指導、助言を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 「よこはま☆保育・教育宣言」を根拠とした保育を他職員に指導、助言ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案や自己評価において適切な指導・助言を行うことができる 保育を語り合うための場を提供し指導計画に活かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの発達や興味関心を理解し、主体的な姿をひきだす保育環境を構成するなど、豊かな保育実践をひろげることができる 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの特性や取り巻く状況に配慮した保育が実践できる 困難な保護者対応に関する基礎的な知識を持つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い視野を持ち、リスクとこどもの経験とのバランスを踏まえ検討を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 他職員の保護者支援を支援することができる 困難な保護者対応に関する基礎的な知識を持つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉の関係法令を理解し、職員に説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 実務リーダーとして役割を遂行できる 	<ul style="list-style-type: none"> 職員により影響を与え、責任職と協力の上、目標達成に向けてチームをまとめていくことができる 他職員のモチベーションを高めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア形成に関する具体的な目標をもつことができる 他職員のモチベーションを高めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア形成を意識して幅広い知識を得ることができる
6 5 4 3	ステップ3	クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> こどもの人権について理解し一人ひとりの人格を尊重した保育ができる 	<ul style="list-style-type: none"> こども一人ひとりの発達や経験、多様性を踏まえ、見通しをもったクラス運営ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 「よこはま☆保育・教育宣言」を具体化した保育が実践できる 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの発達過程を見通し、生活の連続性を考慮し、実態に即した具体的な指導計画を立案し自己評価ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 他クラスと連携して、こどもの発達年齢に応じた保育環境を構成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 障害、医療的ケア、虐待、愛着障害、外国籍など、こどもの発達特性や取り巻く状況に配慮した保育実践ができる インクルーシブな保育を実践できる 	<ul style="list-style-type: none"> リスクの要因を分析し、健康、安全な保育のための計画立案や適切な対応をすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と信頼関係を築き、状況に応じた保護者支援（助言や情報提供）ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉の関係法令が理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 同僚性を高め、クラスのリーダーとしての役割を遂行できる トレーナーとして後輩職員を指導育成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 種々の会議やミーティング等の場で自分なりの考えをまとめ、伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア形成ついてイメージをもつことができる 他職員のワークライフバランスに気を配ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の保育を振り返り、自己研鑽に取り組むことができる
2 1	ステップ2	実践	<ul style="list-style-type: none"> こども一人ひとりの発達を理解し、見通しをもって保育することができる 	<ul style="list-style-type: none"> こども一人ひとりの発達を理解し、見通しをもって保育することができる こどもの心の声を聴くことの大切さを理解することができる 	<ul style="list-style-type: none"> こどもに温かく受容的、応答的に関わることの大切さを理解することができる こどもの心の声を聴くことの大切さを理解することができる 「よこはま☆保育・教育宣言」の内容を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 自園の「全体的な計画、年間、月間、個別などの計画」に基づき、指導計画を立案し自己評価ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性や発達に合わせた保育環境を構成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> リスクを管理し、健康、安全な保育が実践できる 	<ul style="list-style-type: none"> 保育実践を発信することで、保護者と信頼関係を築くことができる 簡単な相談に対応することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域育児支援、世代間交流、幼保小連携などを保育実践に取り入れることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 園目標、保育方針、保育姿勢、全体的な計画など園の保育理念が理解でき、説明できる 児童福祉の関係法令の大切さがかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの役割と課題を認識し、チームの一員として遂行することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が困っていることを周りに伝え、協力を求めるなど、職場内でフォローし合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成ビジョンやキャリア形成について理解することができる ワークライフバランスについて意識することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 園外研修に主体的に参加し保育の技術の向上を図ることができる
	ステップ1	基本理解	<ul style="list-style-type: none"> こどもの人権、一人ひとりの人格を尊重した保育の大切さを理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの発達過程を理解し、見通しをもって保育することの大切さを理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 「よこはま☆保育・教育宣言」の内容を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 自園の「全体的な計画、年間、月間、個別などの計画」を理解することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士も人的環境であることを理解し、こどもが安心して過ごせるよう配慮することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 障害、医療的ケア、虐待、愛着障害、外国籍など、こどもの発達特性や取り巻く状況を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> こどもが健康、安全に過ごせるよう、関係するマニュアルを理解することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と日常的なコミュニケーションを図ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 一時保育や交流保育、園庭開放などを通して地域支援の必要性を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 助言を受けて、自身の役割が理解を遂行できる 	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士の情報を共有、連携の大切さを理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修に主体的に参加することができる 	
	項目	こどもの人権への配慮	発達の理解	保育実践	指導計画の立案	環境の提供	多様な保育への対応	健康・安全管理	家庭との連携	地域支援	理念・関係法令	マネジメント	チームワーク	ワーク・ライフ・バランス	積極的な学び
	構成項目	保育士の核となる実践能力										組織的役割遂行能力			自己研鑽

年数目安